

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇番) 印刷所 常磐毎日印刷所



刊夕日八十月二

定価 一部金貳錢 廣五號十二行 休 日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町三五番 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番

行政及び司法の高等試験に就いて 常磐毎日新聞 緑川享 (四)

から二三摘記させよう。先づ第一に一言したいのは文字と文章に就いてであり、吾々の答を表現するのは文字と文章とで、そして文字の美醜は試験官の心証の上に大なる差異を來すは當然でせう、何となれば試験官と雖も亦人間であるからであります。次に文法ですが口語体か文語体かは議論の餘地はありませうが斯ういふ試験の答案としては文語体を以て力強く簡明に書いた方がよいと思ひます、また文字文章如何に巧なりとも文体如何に高尚なりとも述ぶる事柄の内容に統一がなかつ書きました (〇〇〇)

二月十八日替り 帝キネ小坂若屋撮影所合併 作黄表紙ノ香床シ名作仇 討物語 恨の駒下駄 全十巻 日支自由の天地 六巻 融合 里見明、澤蘭子主演 マキノ得意の猛闘海上大活劇 波は高し 海の人氣男 五巻 東郷久義主演 泉春子が男はだしの劍劇 眞葛 女腹切 全六巻 ケ原 帝キネ 直營 有聲座

平町四丁目 會田時計店 電話三六三番



平町紺屋町(縣社通り) 美味イワキ食堂 味の部電話四六〇番

冬服新荷着 好評噴々たる エリ印人參サフラン葡萄酒と 美味ポルトワインは 目下特賣中賣切れぬ内是非御試用を 特約店 山野邊藥局 平町五丁目角

石炭 阿部石炭商店 品質ノ優良+値段ノ安價= 常磐第一ノ優良炭田ヨリ産出スル 一日ノ採炭二百五十車ノ大量生産

アルミニウム食器は 一丁目 (電話五百六十番) 關原商店 電話二二七番 配達迅速

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

平町實費病院 診察無料 其他實費 平町郵便局裏(電話五五一番)

吉田眼科醫院 ヒヨケ・シート・テント 敷島ヒヨケ店 平町土橋通り電話三一一番

名特 入提 手供 拭供 吉田専 染工場 (電話五五八番) 福島縣平町五丁目

美容の心得は 婦人の身だしなみ

盛況を豫期し講師を増派 美容大會愈々明日!

既報平町に於て最初の試みたる美容競技大會は愈々明十九日午前十一時より平劇場にて開催される、眞善眞美を

優待券

を御持参の上奮つて御入場の程をお薦めする、因に同大會の煎煎り役たる三丁目大黒屋の若主人は左記の如く語つた

基礎

「髪型や顔を整へる事は婦人の身だしなみとして最も重要な事であり、そのに如何か地方では割合に顧みられて居りません。或ひは一種の整潔と見なされる為め知りませぬが化粧品を使へ方を心得る事に依つて極めて経済的に且つ衛生的に然も僅かな時間で身だしなみを果す事が出来るのです、簡単な化粧品や髪の手入れ方を知らぬ結果は反つて化粧品を不経済に使用しまた長い時間を要しても心になつた髪型が出来て来上らない事となり是れが精神的に及ぼす影響も決して尠くないのであります、是等の點に鑑みまして私共が敢て敢つたり着付けや結髪、それに化粧の方法をどうしたなれば其美を増す事が出来るかを手取り早く御傳授する爲めに此度の催しを開く事になつたのです」

見込み

である爲め既報十一名の講師以外に洋髪及び化粧法を得意とする美装術界の明星豊島美容院長菊地ゆわ子女史及び一般化粧法に關して海外の智識迄も豊富にとり入れた棚瀬美容研究所講師三保のふ子女史にも急遽來平を乞ふべく昨日

急電を

發した結果今曉の急行にて來平され講師は總べて顔揃へとなつた由である、而して主催者は本社が同會の趣旨を賛して運日本紙上に紹介を努めた券を多とし本紙愛讀者に限り會費五十錢を卅錢に割引すべき優待券の添附を申出たから此際愛讀者諸君は別項刷り込みの

詩の展覽會を催す等相當地方の文藝會を賑して居たが既報の来る廿七日午御六時から公會堂に開かれたる藤森成吉氏其他の文藝講演會も前記の同人の膽煎りに依る所であつて同夜は同人連の詩の朗誦等もあり會員券は廿錢にて柴田書店文房具店にある由

磐炭爭議の警戒で 手薄の虚をぬらへ

可成り大きな賭博が流行 近く大々的檢擧を

平署は磐炭爭議の警戒に主力を盡して居る爲め市内の警戒は多少手薄の感あるが消防組の夜警嚴重を極め盜賊等の横行も少く割合に静かである、唯然し不景氣が深刻である結果として割合に暇が多い爲めか警戒薄の昨今を好機として盛んに賭博が開帳され比較的富豪のみが多い某町の某實業家の家等には朝夕博徒達が入り浸りとなつて仲々大きな賭博が行はれて居る噂等もある爲め平署の刑事連は目下是等を密偵中にて爭議の一段落と共に大々的檢擧の手

警中校長

來月初旬發表

滑川警城中學校長が病後久しく後任難となつてゐた同校長は漸く内定を見たものゝ如く、來月初旬頃發表される筈

徵兵檢査

來月四日から

石城郡に於ける昭和二年度の徵兵檢査期日は五月四日



赤ら顔と荒れ性

寒い時期においては兎角お顔が赤くなつたりひどいのは紫色を呈する方がありますが左様な方はよく頬を摩擦して血の循環をはかるこ

とが必要であります。最も適當でありますとして刺戟性の食物を避け、腰や足を冷さぬやう注意して徐々に治せばよいのであります。お化粧法としては白粉を少量混ぜた頬紅をさして、生地のお赤味をかくせばきれいなお化粧が出来ます次に荒れ性の方は殊に冬期には困

ります、お化粧にはピンクライラツク水とか、過酸化水素化粧水等を常用しそれでも治らないならば就寝の時ハイジニツク・クロームを塗つて、その上に粉白粉を少しつけておやすませ、翌朝はクリームをよく洗ひ落とす化粧なさると白粉が落ちつきま

下縣の視聽集をため 大瀧會縣速記録

（四廿）

參與員（半井清君）只今御質問の大瀧發電所の問頭でありますが之に關して或有志が調停の結果企業社が知事宛の取下願を出した答であることに對して縣がどう處置をしたか云ふ意味の御質問でありましたが是は今七番の取下願と申しまするの役所から見ますと云ふと一つの覺書に過ぎぬやうな者であります企業

社の代表者が知事の前で色々話をして其結果それでは取下ませうと云ふやうな一種の覺書を出したと云ふ事にしか見ることが出来るのであります、願書として成規の手續を完備して居らぬのであります併しながら一旦知事の前で會社の代表者が覺書を出した以上は假令是れが行政上の手續はどうであらうとも會社としてそれを守るべきが當然であります此點に付きましたは縣は其不徳を詰りて度々交渉したのであります此點に付て此代表者の執つた態度に付きましたは七番と御同様誠心外に存じて居るの

であります、併しながら行政上の問題としましては一片の覺書でありますから唯會社の徳義上の不徳を責めると云ふ以外には致し方がないのであります此取下願を本にしてあの解決を行政的に處置すると云ふことは遺憾ながら出来なかつた事情になつて居るのであります左様御諒承を願ひます

二十九番（井上茂作君）只今の七番の質問に對しまして尙御聞きしたい事があるのであります御許しを願ひます 議長（鈴木重郎治君）二十九番

二十九番（井上茂作君）只今七番の御質問に對しまして内務部長の御答辯は覺書なるものは一種の私約書であるから行政としての取扱が出来なかつたと云ふ御説であります、七番の御質問はそればかりでない様に私は考へる覺書と云ふのは参考書であります、而も知事宛に取下願として出したものは決して覺書でないのではありません、又もう一つ平町の苦情を云ふ處を取消して上流に變更すると云ふ申請書も決して覺書ではないのであります、而も公然と知事宛に企業社より申請した書類である然るに覺書と御解

二十九番發言を求む（つとく）